

フィリップス社製CPAP装置・在宅用人工呼吸器を

お使いの患者様へのお知らせ

この度、株式会社フィリップス・ジャパンより CPAP “ドリームステーション”、在宅用人工呼吸器 “A40” ・ “トリロジー” が米国において自主回収（リコール）となったとの報告を受けました。（当院にて CPAP 機をお使いの患者様 90 名のうち、53 名該当）

リコール内容としましては、内部の防音素材が劣化して微細粒子が吸入されてしまう可能性があるとの報告でした。

原因としましては、経年劣化が原因の一つと考えられています。

今回のような事象率は、全世界で 0.03%の割合で報告されております。

なお、日本国内においては、これまでに同様な事象報告は確認されておりませんが、安全を期してフィリップス社製 CPAP は順次、他メーカーの CPAP に入れ替えることといたします。

在宅用人工呼吸器に関しましては、不具合部材を交換した機種がメーカーより届き次第、順次入れ替えを行います。

その他、ご要望がございましたら主治医へご相談ください。